

リアルボイス

特集 米原市で 創業した人に聞きました！ 創業

地域経済を活性化するため、市では起業や創業をする方への支援を積極的に進めています。
新しい事業者を育てることは、新たな産業を生み出し市内の事業者を増やすことができるだけでなく、米原は創業の夢に挑戦し希望が叶えられるまちとして、人を呼び込むことも期待できます。
今回は、市の創業支援制度を活用し、実際に市内で創業された方々の“声”(リアルボイス)をご紹介します！

伊吹山TVでもご紹介します▶
7月25日号



☎ 市 シティセールス課 ☎ 53-5146 ☎ 53-5139

人と人との交流の場を 自分の手でつくりたい

私が育った実家は、いつも人が集まりとても賑やかな場所でした。そんな空間が自分にとってすごく心地良いなと子どもながらに感じていたことを覚えています。

20代の頃に単身で海外留学をした際にも、人と人との交流や繋がりの大切さを強く感じ、いつかこのような交流の場を自分の手でつくりたいと思うようになりました。

その後、たくさんの人と関わることでできる飲食業界で働いてきましたが、結婚し、子どもが生まれたタイミングで米原へ戻ってきた時に、「ここに人と人との交流できる場所、自分の店をつくる」と、創業することを決意しました。

不安もあったが、思い切って 創業支援制度を利用

自分のお店を持ちたいと決めたものの、当初は創業についての知識もなく、何から始めていいのか見当もつかない状態でした。そんな中、知人から「広報誌にこんなのが載っているよ」と教えてもらったのが市の創業支援制度でした。「本当に何も知らない私

が電話をしてもいいのだろうか」と最初は不安で戸惑いもありましたが、思い切って問い合わせしてみたところ、想像以上に親身になって対応してくださり、すごく安心しました。

きめ細やかなサポート・

「市の応援」がとても心強かった

申請手続きや審査を経て、無事に制度を利用できることに決まったのですが、創業についてはまだ知らないことだらけだったので、市には色んなことを相談させてもらいました。

こちらからの質問にはすぐに回答してくださいましたし、報告書などの提出物の作成についてもきめ細かくサポートしてもらいました。また、制度のこと以外にも色々と役立つ情報を教えていただいたので、本当にありがたかったです。とにかくいつでも気軽に相談できる雰囲気、市の制度を利用しているというよりは、「市に応援してもらっている」と思えて、とても心強く感じました。

支えてくれた人のためにも 「交流の場」を提供し続けたい

今後の目標としては、まずはおいしい料理を提供して、このお店をいつも

ボイス.1 yard+cafe (ヤードプラスカフェ) オーナー まつい あけみ 松居 明美さん

米原市出身。学生の頃に一時米原を離れたが、結婚し、子どもが生まれ「子育てをするなら子育て支援の充実している米原で」と市内へ戻る。
令和6年度に市の創業・新事業創出支援事業の採択を受け、今年5月、宇賀野にカフェをオープン。「身体に優しく、できるだけ新鮮なものを」をモットーに、自家製野菜やハーブを使った料理を提供している。

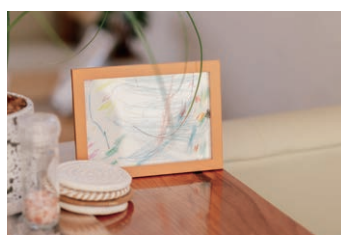


人が集まる場にしていきたいなと思っています。

そして、今このお店に親や家族と来てくれる小さな子どもたちが成長して大人になってからも、ここに集まってくれる。長い時間が経っても、このお店に来ればみんなが繋がれる。そんな空間をずっと提供し続けていきたいと思っています。

このお店を立ち上げることができたのは、私ひとりの力ではなく、市はもちろん、家族や友人、地域の方々など、たくさんの人にサポートしていただいたおかげです。

今まで支えてくださった皆さんのためにも、恩返しのため、このお店をこの先もしっかりと運営していきたいと思っています。



店内には松居さんのお子さんが描いた絵が所々に飾られている



木材がふんだんに使用され、温かみのある店内



これから創業を目指す方へ
もし創業のことで悩みや迷いがあれば、一度市へ連絡してみてください。
私も色々サポートしていただき、相談して本当に良かったと思っていますので、ぜひ一歩前に進んでいただきたいと思います！